

シェイクアウトまでのカウントダウン



以下のカウントダウンを用いて、あなたの組織に属するすべての人々がシェイクアウトドリルに確実に参加できるよう配慮すること。

6 あなたの組織が 参加するために次のサイトから登録ください: ShakeOut.org/register。

- 組織全体として参加される方々の人数をお含めください。
- また、従業員が自宅においても地震安全を実践するようお勧めください。

5 各部門のリーダーと面談し、計画を再検討するとともに、あなたの組織が実施する訓練のレベル および参加者を決定します。訓練のためのマニュアルは、ShakeOut.org のウェブサイトの内のリソースセクションからこれらのレベルについての指示とともにご入手頂けます。

- レベル1 – シンプル: ドロップ (又はロック)、カバー、およびホールドオン!
- レベル2 – ベイシック: 生命を守るための訓練
- レベル3 – 中級: 意思決定のための討議及び訓練
- レベル4 – 上級: 業務運営に係る討議及び訓練



4 演習計画を作成します: これは、訓練の目標、発生する事象に係る時系列的経過 (例え、「ドロップ/ロック、カバーおよびホールドオン」だけの場合でも)、並びに何が巧く行ったか及び何を改善すべきなのかという点を明らかにするための訓練後のフィードバックセッションについて説明するものです。この計画をあなたの組織等の参加者でご共有ください。

3 あなたのネットワークに属する供給事業者、請負業者、協働する機関その他の組織に 耐震性を向上させるために参加するよう促すとともに、シェイク・アウトに関するリソースをご共有ください。災害後に、あなたの組織が依拠するサービスまたは製品が確実に利用できるようにするための合意書を締結しておくことなど、ご自身の組織の準備を整えておくための手順についてご検討ください。

2 従業員の意識向上キャンペーンを創出すること。

- シェイクアウトのバナーおよびサインをあなたの組織の中に掲げることで、従業員、取引事業者および顧客に参加するよう奨励するとともに念をおすこと。
- 従業員宛に、自宅および職場における準備の仕方についての情報およびヒントを電子メールで送信すること。
- 電子メールやソーシャルメディアを介してシェイクアウトに関連するメッセージを共有するよう従業員に奨励すること。

1 訓練中に他のシェイクアウトに関するリソースを検討しつつ使用すること。例えば:

- 放送オーディオ/ビデオ録音の訓練
- 地震安全アクセシビリティのヒント (EarthquakeCountry.org/accessibility)
- 店舗やその他の状況にいる人々のためのカスタムガイダンス

0 シェイクアウトの日 (または必要に応じ、代替的な日付) に訓練を実施すること。

- 訓練後の討議を実施し、人々が学習したことを聞くとともに、地震への備えを引き続き強化するため、次のステップを計画すること。

